

# 終盤国会、疑惑を解明せよ！ 安倍暴走政治にストップを

## 府職の友 本庁ニュース

発行  
大阪府職労  
内線3746

終盤国会で焦点となっ

ている「共謀罪」法案や「加計学園」疑惑に全国各地で怒りがわきおこっています。ところが安倍晋三首相は、国民の疑問や批判を問答無用で受け付けない異常な態度をとっています。

### 国会の審議を否定

「(野党は)不安を広げるための議論を延々としている」。安倍首相は4日放送のラジオ番組で、これまでの「共謀罪」法案の国会審議を根本から踏みにじる暴言を吐きました。国会では野党から質問された内容にまともな答えず、ラジオ番組では野党の追及をねじまげ

て一方的に攻撃しています。「野党の質問権と国会の審議を否定する重大発言」(日本共産党の仁比聡平参院議員)です。

### 国連に無回答のまま

「共謀罪」法案の参院審議では、環境保護団体や人権保護団体なども、それが「隠れみの」だとして日常的な監視・調査の対象となりうるという衆院審議ではなかった新たな政府答弁もしています。審議を一からやり直さなければならぬほど重大論点が浮かび上がっているのに、与党からは平然と採決日程が出る異常さです。さらに、国連特別報告者がプライバシーを守る仕組みについて深刻な懸念を示した意見を突きつけたことに安倍政権は抗議しています。国連の批判にも一切回答し

ないままです。

### 疑惑の調査まで拒否

問答無用ぶりは「加計学園」疑惑でも同様です。安倍首相の強い働きかけを示す内部文書の存在が次々明らかになり、前川喜平前文科省事務次官の証言で裏付けられているのに、安倍首相も松野博一文科相も「調査をすることを考えはない」の一言で片付け、野党が求める前川氏ら関係者の証人喚問も「必要がないから」と理由にならない理由で拒否しているのです。

### 不利な質問には激高

首相の答弁姿勢も異常です。5日の衆院決算行政監視委員会では、質問に答えず野党批判やヤジへの応酬を延々と続け、委員長から再三、「質問

に答えてください」と注意される場面もありました。加計学園理事長との関係など、自らに不利な質問が出されると「印象操作だ」と色をなし激高しました。

菅義偉官房長官も、文書の存在を指摘した前川氏を非難し、辞任の経緯や“出会い系バー”の問題まで持ち出し、人格攻撃に終始しました。支持率が低下している安倍内閣は、より一層国民の声を無視し、暴走を続けようとしています。

### 訂正とお詫び

本庁ニュース6月7日(水)号で就職差別110番の電話番号が間違っていました。

【誤】06(6210)9158

【正】06(6210)9518

訂正してお詫び申し上げます。